

二について申し上げます。一等の『さいらうばらひ』は地方
地方に於ける年中行事で、可なり年代を累ねてゐるもので
ありますが、それを今日の童話として取り扱はれたのは嬉
しかつた。

地方色もあり、子供の生活にも即してゐて、全く希望通
りであります上に、文章もなめらかであります等々、審査
員諸員の大満足された所でありました。

×

『ニコく〜ダルマさん』は、悪戯が一つのクラキマックス

苦言

遠慮なく——御懇意づくで——申し上げる。皆さんのお
作を読んでゐて、なか〜うまいものだと思ふ。地方色ミ
いひ、児童生活ミいひ、随分面倒な條件が附いてゐるの
に。忙しい日々の保育の間に、よく之れだけの創作が出來
るものだと思ふ。

になつてゐますのは、玉に瑕でありませう。『でん〜蟲』
は、幼児らしい教訓譚。『河童の瓶』は、多分傳説を資料と
されたのでありませうが、これも地方色のある面白い話。
『狸ごお團子』は、此種の譚は、動〜もする〜、野卑に陥る
る恐れがありますが、此の作は其點に深き注意を拂つてゐ
られるのが嬉しい。

妄評多罪、もう斯様な無遠慮の老人を審査員なんかにな
さらない好いです。ハイハイ (二三、五、一九)

倉橋惣三

しかも亦、尙ほ遠慮なく申せば、折角の材料に着想ミ
に、もう少し、力を入れた取り扱ひの出來ないものかご。
なんだか書き流しのまゝで、読み直しも、加筆もしてない
のではないかごさへ思はれる。つまり、材料がよく、着想
もいゝのに、表現上の苦心が足りないのではないかごいふ

のである。

此の懸賞募集を特に保姆諸君に限つてゐるのは、言ひかへれば、童話作家としてのくろ、う、ごの諸先生でなく、そのくろ、う、ごでないさいふ意味でのしろ、う、ごの作を求めてゐる譯である。ですから、しろ、う、ごらしいところこそ、求むるところがあるともいへる。しかし、いくら、くろ、う、ごで

選者の一人として

今度の募集でみなさんから寄せて送られた童話はなかなか澤山にあつて、一くるみに束ねた原稿がドサリと重く手應へのあつたのもまことに頼母しい氣がした。

それに、今迄のものに比べて、條件がついてゐるので、これが作者側から云へば難しいと思つて苦にする人もあらうし、又、その方が却つて作り易いと思つた人もあらう。とにかく、すつかり眼を通して見たところでは、これもこれも條件に適つてゐるものばかりで、而かもその條件の性

ないからして、作をする以上、少しは表現上の苦心がなくしてはなるまい。それがさうも足りなくないか。

さいふのは、皆さんに失禮なおこしを申すのではない。たゞ、如何にも惜しいと思ふからである。惜しくてならないからである。勿論、表現だけ巧みな似而非く、う、ご作は尙困るが。

新庄よしこ

質上、地方にいくものが多かつたさいふのは止むを得ない結果である。殊に朝鮮や満洲から應募されたのには、時節柄事變色のはつきりしたものが多かつた。内地に居て、ニュースで戦況を知るさいふ間さほの状態よりも、出征さか、傷病兵の選送さかが、それが話して傳へられるより、眼の前の事實として幼児の生活に即してゐるから、話の内容には迫つてくる切實なものが二三あつた。たゞ惜しい事に、描寫が粗雑であつたり、童話としての要素が含まれてゐな